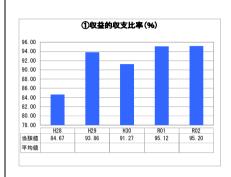
経営比較分析表 (令和2年度決算)

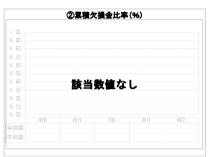
宮崎県 三段町

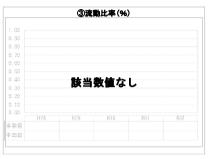
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
_	該当数値なし	44, 25	100, 99	3, 388

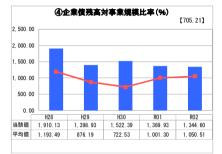
70 (7)	面積(km²)	人口密度(人/km²)
26, 026	110. 02	236. 56
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km²)	処理区域内人口密度(人/km²)
11, 534	3. 45	3, 343. 19

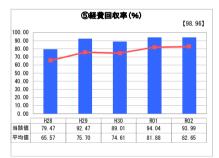
1. 経営の健全性・効率性



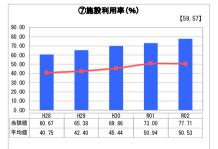






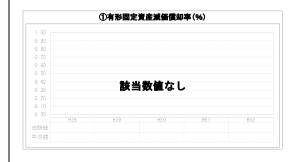








2. 老朽化の状況







グラフ凡例

■ 当該団体値(当該値)

- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和2年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本町の公共下水道は、平成17年に供用開始し、16年が 経過していますが、普及率は44.25%と低く、未普及対 策を進めています。

また、平成30年度から令和2年度にかけて行っている 処理槽の増設工事により、事業整備投資が増加していま

①「収益的収支比率」は、95.20%で100%を下回って ますが、下水道整備の拡大に伴う接続件数の増加によ り、使用料収入は増加しており、徐々に改善されており

(項) (企業債残高対事業規模比率」は、現在、一般会計 線入金により贈われている状況でありますが、使用料収 入の増加に付い、起債債迄への充当が見込めることか ら、一般会計線入金が減少し、企業債比率が改善される と予想されます。

また⑤「経費回収率」は、類似団体平均値82.65%に対し、本町は93.99%と上回っており、経営の改善が進んでいることが確認できます。

⑥「汚水処理原価」は、平成30年度まで類似団体平均値を下回っていましたが、今後は施設の更新等が出てくることから、「汚水処理原価」が高くなることが予想されます。そのため、施設の延命化に努める必要が出てきます。

⑦「施設利用率」は、平成28年度から類似団体平均値を上回っていますが、更に効率性の向上に努める必要があります。

⑧「水洗化率」は、現在下水道整備を進めている状況であるため、ほぼ横ばいになっています。類似団体との比較では、平均値を大幅に下回っており、更なる接続推進に努める必要があります。

2. 老朽化の状況について

平成17年の供用開始から16年が経過していますが、耐用年数を超えている管渠はなく、現時点で必要な改築等は無いため、管渠改善は低い水準となっています。しかし、処理施設については、今後徐々に耐用年数を迎えることから、施設の長寿命化計画を作成し、、晩時改築・修繕を行っていくことが必要となります。

全体総括

平成28年度に策定した経営戦略を基に、経営の健 全性と効率性を高めるため、水洗化率向上のための 対策、汚水処理施設の統合等による効率性向上のた めの対策が必要です。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

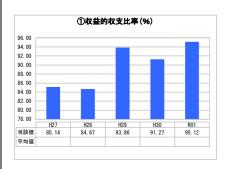
経営比較分析表 (令和元年度決算)

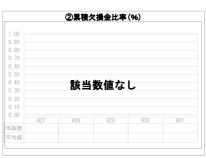
宮崎県 三股町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	42. 28	100. 38	3, 388

人口 (人)	面積 (km²)	人口密度(人/km²)
26, 099	110. 02	237. 22
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km²)	処理区域内人口密度(人/km²)
11, 015	3. 30	3, 337. 88

1. 経営の健全性・効率性



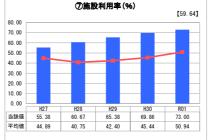






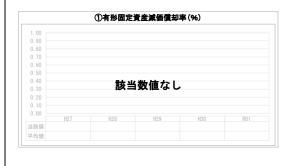




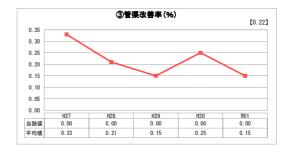




2. 老朽化の状況







グラフ凡例

■ 当該団体値(当該値)

類似団体平均値(平均値)

【】 令和元年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本町の公共下水道は、平成17年に供用開始し15年 が経過していますが、普及率は42.28%と低く、未 普及対策を進めています。また、平成30年度から令 和2年度にかけて処理槽の増設工事を行っているこ とから事業整備投資が増加しています。①収益的収 支は100%を下回ってはいますが、接続件数の増加 に伴い使用料収入は増加しており徐々に改善されて きています。④「企業債残高対事業規模比率」につ いては、現在、一般会計繰入金により賄われている 状況でありますが、使用料収入の増加に伴い、起債 償還への充当が見込めることから、一般会計繰入金 が減少し、企業債比率が改善されると予想されま す。また⑤「経費回収率」については、類似団体平 均値81.88%に対し本町は94.04%と上回っており、 経営の改善が進んでいることが確認できます。⑥ 「汚水処理原価」については、平成30年度まで類似 団体平均値を下回っていましたが、今後は施設の更 新等が出てくることから「汚水処理原価」が高くな ることが予想されます。そのため、施設の延命化に 努める必要が出てきます。⑦「施設利用率」は、平 成25年度から類似団体平均値を上回っていますが、 更に効率性の向上に努める必要があります。⑧「水 洗化率」は、徐々に上がってきていますが、類似団 体平均値を下回っており、さらに接続推進に努める 必要があります。

2. 老朽化の状況について

全体総括

平成28年度に策定した経営戦略を基に、経営の健全性と効率性を高めるため、水洗化率の向上による使用料収入の増と、汚水処理施設の統合による、効率性の向上が必要です。

[※] 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

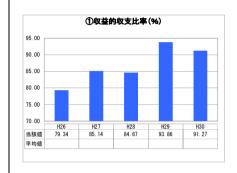
経営比較分析表 (平成30年度決算)

宮崎県 三股町

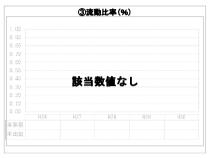
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
_	該当数値なし	40. 86	99. 66	3, 326

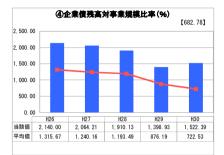
人口 (人)	面積 (km²)	人口密度(人/km²)
26, 081	110. 02	237. 06
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km²)	処理区域内人口密度(人/km²)
10, 625		3, 416, 40

1. 経営の健全性・効率性



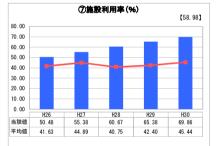


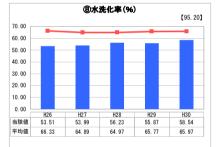








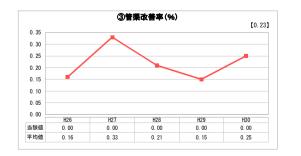




2. 老朽化の状況







グラフ凡例

■ 当該団体値(当該値)

- 類似団体平均値(平均値)

【】 平成30年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本町の公共下水道は、平成17年に供用開始し14 年が経過していますが、普及率は40.86%と低く 未普及対策を進めている。また、平成30年度から 令和2年度にかけて処理槽の増設工事を行っている とから事業整備投資が増加しており①「収益的収 支比率」が前年度より下がっている。増設工事が完 了するまではこのような状況が続くと思われるが、 接続件数の増加に伴い使用料収入は増加している。 ④「企業債残高事業規模比率」は、H30年度ま で、一般会計繰入金により賄われている状況であり ますが、今後は使用料収入の増加に伴い、起債償還 への充当が見込めることから、一般会計繰入金が減 少し、企業債比率が改善されると予想されます。ま た⑤「経費回収率」については、類似団体平均値 74.61%に対し本町は98.01%と上回っており、経営 の改善が進んでいることが確認できます。⑥「汚水 処理原価」については、H26年度より類似団体平 均値を下回っていますが、今後は施設の更新等が出 てくることから「汚水処理原価」が高くなることが 予想されます。そのため、施設の延命化に努める必 要が出てきます。⑦「施設利用率」は、平成25年 度から類似団体平均値を上回っていますが、更に効 率性の向上に努める必要があります。8 「水洗化 率」は類似団体平均値を下回っており、接続推進! 努める必要があります。

2. 老朽化の状況について

平成17年の供用開始から14年が経過していますが、耐用年数を超えている管渠はなく、現時点で必要な改築等は無いため、管渠改善ではいては、今後なし、計画を作成し、、のはいます。しかし、処理施設については、今後徐々に耐用年数を迎えることから、施設の長寿命化計画を作成し、、放撃となります。

全体総括

平成28年度に策定した経営戦略により、経営の健全 性と効率性を高めるため、水洗化率の向上による使 用料収入の増と、汚水処理施設の統合による、効率 性の向上が必要です。

経営比較分析表(平成29年度決算)

③流動比率(%)

該当数値なし

「支払能力」

⑦施設利用率(%)

H27

55.38

44 89

「施設の効率性」

H28

40 75

H26

50.48

41.63

宮崎県 三股町

100.00

90.00

80.00

70.00

60.00

50.00

40.00

30.00

20.00

10.00

0.00

当該値

平均値

100.00

90.00

80 00

70.00 60.00

50.00

40.00

30 00

20.00

10.00

0.00

当該値

平均値 57. 33

H25

58. 28

H26

70.94

60, 78

68. 17

79.34

①収益的収支比率(%)

85 14

「単年度の収支」

⑤経費回収率(%)

H27

78. 95

60.17

「料金水準の適切性」

H28

79.47

65.57

84. 67

93 86

[101, 26]

H29

92.47

75 70

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	39. 86	99. 94	3. 326

0.00

当該値

350 00

300.00

250.00

200.00

150 00

100.00

50.00

0.00

当該値

平均値 284, 53

H25

316. 27

H26

263. 41

276, 26

平均値

②累積欠損金比率(%)

該当数値なし

「累積欠損」

⑥汚水処理原価(円)

H27

239.86

281 53

「費用の効率性」

H28

240. 19

263 04

ᄱᅅ	面積 (km²)	人口密度(人/km²)
26, 048	110. 02	236. 76
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km²)	処理区域内人口密度(人/km²)
10, 363	3. 03	3, 420. 13

3, 500. 00

3, 000. 00

2 500 00

2, 000. 00

1, 500.00

1 000 00

70 00

60.00

50.00

40 00

30.00

20 00

10.00

0.00

当該値

平均値 65.86

H25

47.12

[60, 13]

H29

65.38

42.40

500.00

0.00

当該値 3,009,00

平均値 1,506.51

H25

2, 140, 00

1, 315. 67

H26

53. 51

66 33

④企業債務高対事業規模比率(%)

2 064 21

1, 240. 16

「債務残高」

⑧水洗化率(%)

H27

53.99

64 89

「使用料対象の捕捉」

H28

56. 23

64. 97

1 910 13

1, 193, 49

グラフ凡例

■ 当該団体値(当該値)

類似団体平均値(平均値)

【】 平成29年度全国平均

分析欄

経営の健全性・効率性について

本町の公共下水道は、平成17年に供用開始し13

しかし、近年は接続件数の増加により使用料金収入 年度まで、一般会計繰入金により賄われている状況 でありますが、今後は使用料金の増加に伴い、起債 償還への充当が見込めることから、一般会計繰入金 す。また⑤「経費回収率」については、類似団体平

「汚水処理原価」については、H26年度より類似 団体平均値を下回っていますが、今後は施設の更新 等が出てくることから「汚水処理原価」が高くなる ことが予想されます。そのため、施設の延命化に努 める必要が出てきます。(7)「施設利用率」は、平成 25年度から類似団体平均値を上回っていますが、 更に効率性の向上に努める必要があります。⑧「水 洗化率」は類似団体平均値を下回っており、接続推

平成17年の供用開始から13年が経過しています が、耐用年数を超えている管渠はなく、現時点で必 要な改築等は無いため、管渠改善率は低い水準と なっています。しかし、処理施設については、今後 徐々に耐用年数を迎えることから、施設の長寿命化 計画を作成し、随時改築・修繕を行っていくことが

[707.33]

1 398 93

[95, 06]

H29

65 77

年が経過しています。しかし普及率は39.86%と低 い水準のため、事業整備投資に対し使用料金収入が 低いことから①「収益的収支比率」が100%を下 回っています。このことにより、経営の健全性が確 保されているとはいえない状況です。

が増え「収益的収支比率」は徐々に改善されてきて います。④「企業債残高事業規模比率」は、H29 が減少し、企業債比率が改善されると予想されま 均値75.70%に対し本町は92.47%と上回っており、 経営の改善が進んでいることが確認できます。⑥

進に努める必要があります。

老朽化の状況について

全体総括

の向上が必要です。

必要となります。

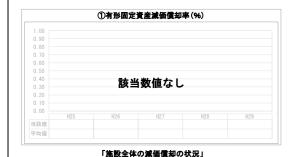
平成28年度に策定した経営戦略により、経営の健全

性と効率性を高めるため、水洗化率の向上による使

用料金の増と、汚水処理施設の統合による、効率性

2. 老朽化の状況

45.33





1. 経営の健全性・効率性

0.90

0.80

0.60

0.50

0.40

0.30

平均値

70.00

60.00

50.00

40 00

30.00

20 00

10.00

0.00

当該値

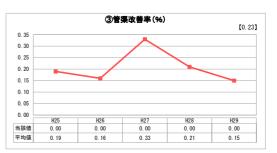
平均値 39. 92

[136, 39]

H29

206. 93

230. 04



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

- 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
- ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

経営比較分析表(平成28年度決算)

③流動比率(%)

該当数値なし

「支払能力」

⑦施設利用率(%)

H26

50.48

41 63

「施設の効率性」

H27

55.38

44 89

H25

45.33

39.92

宮崎県 三股町

90.00

80 00

70.00

60.00

50.00

40.00

30.00

20.00

10.00

0.00

当該债 64. 33

平均値

90.00

80.00

70.00

60.00

50.00

40 00

30.00

20.00

10 00

0.00

当該値 50.54

平均値 57. 36

H24

H25

58.28

57.33

①収益的収支比率(%)

79.34

「単年度の収支」

⑤経費回収率(%)

H26

70.94

60.78

「料金水準の適切性」

H27

78.95

60.17

85.14

84 67

[100.04]

H28

79.47

65. 57

68 17

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
=	該当数値なし	37. 41	99. 58	3, 326

当該値

400.00

350 00

300.00

250.00

200.00

150.00

100.00

50.00

0.00

当該値

平均値 279. 91

H24

362. 27

H25

316. 27

284, 53

平均値

②累積欠損金比率(%)

該当数値なし

「累積欠損」

⑥汚水処理原価(円)

H26

263.41

276, 26

「費用の効率性」

H27

239.86

281.53

(J	面積 (km²)	人口密度(人/km²)
26, 054	110. 02	236. 81
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km²)	処理区域内人口密度(人/km²)

4, 000. 00

3, 500.00

3 000 00

2, 500. 00

2, 000. 00

1, 500. 00

1 000 00

70.00

60.00

50.00

40 00

30.00

20 00

10.00

0.00

当該値

平均値 66.00

H24

50.01

H25

47. 12

65.86

[60.09]

H28

60.67

40, 75

500 00

H24

平均値 1,574.53 1,506.51

3, 009, 00

当該値 3.771.00

④企業債務高対事業規模比率(%)

2 140 00

1, 315. 67

「債務残高」

⑧水洗化率(%)

H26

53.51

66.33

「使用料対象の捕捉」

H27

53.99

64 89

2 064 00

1, 240. 16

グラフ凡例

■ 当該団体値(当該値)

類似団体平均値(平均値)

【】 平成28年度全国平均

分析欄

経営の健全性・効率性について

が経過しています。しかし普及率は37.4%と低い水 準のため、事業整備投資に対し使用料金収入が低い ことから①「収益的収支比率」が100%を下回って います。このことにより、経営の健全性が確保され

しかし、近年は接続件数の増加により使用料金収入 います。④「企業債残高事業規模比率」は、H28 年度まで、一般会計繰入金により賄われている状況 でありますが、今後は使用料金の増加に伴い、起債 償還への充当が見込めることから、一般会計繰入金 す。また⑤「経費回収率」については、類似団体平 均値65%に対し本町は79%と上回っており、経営の 改善が進んでいることが確認できます。⑥「汚水処 理原価」については、H26年度より類似団体平均 値を下回っていますが、今後は施設の更新等が出て くることから「汚水処理原価」が高くなることが予 想されます。そのため、施設の延命化に努める必要 が出てきます。⑦「施設利用率」は、平成25年度 から類似団体平均値を上回っていますが、更に効率 性の向上に努める必要があります。⑧「水洗化率」 は類似団体平均値を下回っており、接続推進に努め

が増え「収益的収支比率」は徐々に改善されてきて が減少し、企業債比率が改善されると予想されま る必要があります。

供用開始から12年が経過していますが、耐用年数

[728.30]

1 910 00

1, 193, 49

[94, 90]

H28

56. 23

64 97

本町の公共下水道は、平成17年に供用開始し12年 ているとはいえない状況です。

老朽化の状況について

全体総括

向上が必要があります。

を超えている管渠はなく、現時点で必要な改築等は 無いため、管渠改善率は低い水準となっています。 しかし、処理施設については、今後徐々に耐用年数 を向かえることから、施設の長寿命化計画を作成 し、随時改築・修繕を行っていくことが必要となり

平成28年に策定した経営戦略により、経営の健全性

と効率性を高めるため、水洗化率の向上による使用

料金の増と、汚水処理施設の統合による、効率性の

2. 老朽化の状況

[137, 82]

H28

240. 19

263. 04

1. 経営の健全性・効率性

0.90

0.80

0.70

0.60

0.50

0.40

0.30

平均値

70 00

60.00

50.00

40 00

30.00

20 00

10.00

0.00

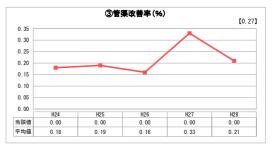
当該値 34. 76

平均値 40.07

(1)有形固定資産減価償却率(%) 0.90 0.80 0.60 0.40 該当数値なし 0.00 当該値 平均値

「施設全体の減価償却の状況」





「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

- 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
- ※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。